よくある質問（FAQ）

Ｑ１「高校ではどのような勉強をしたらよいか」

⇒幅広く学んでください。人間を理解するには幅広い知識と多面的な視点が必要です。

Ｑ２「心理学は理系っぽいところがあるそうだが？」

⇒データに基づき，実証的・論理的に結論を導きます。人を対象とした実験を行ったり，統計解析を行うこともよくありますが，数学が苦手でも大丈夫です。

Ｑ３「心理学教室の競争率は高いのか？」

⇒年度によります。第一希望でも何人か入れなかった年もあれば，希望者が全員入る年もありました。ただし入試制度が変わったばかりなので，現状では何ともいえません。

Ｑ４「人間社会学科の他の教室に入ったとき，心理学の授業はとれるのか？」

⇒講義科目や多くの演習科目は履修できますが，実習や研究法の科目など，心理学の学生の必修科目はとれません。

Ｑ５「カウンセラーになるにはどうしたらよいか？」

⇒大学院の博士前期課程（修士）まで進んで，公認心理師や臨床心理士などの受験資格を取得して下さい。分野は臨床心理学がよいでしょう。

Ｑ６「公認心理師を目指すには，学部で心理学教室に入っていなければだめか？」

⇒本学の場合，指定された２５科目は心理学教室でしか提供しておらず，他の教室所属の学生には開講されない科目もあります。他の教室ではまず難しいと思って下さい。

Ｑ７「犯罪心理学は学べるか？」

⇒非常勤講師の方に，毎年授業をお願いしています。一般の学生が犯罪についてデータを取ることは難しいのですが，文献研究や，非行などの形にして研究することは可能です。

Ｑ８「学校におけるいじめなど，教育学と迷っているが」

⇒個人に焦点を当てるなら心理学でしょうか。逆に，学校というシステムなどの視点から扱いたければ教育学になります。教育学教室でも尋ねてみてください。

Ｑ９「留年せずに留学はできるか？」

⇒休学せずに交換留学で行く場合，１年間までなら留年せずに卒業できます。ただし，履修科目や卒業研究に関して調整が必要になることがあります。

Ｑ１０「留学制度はどういうものがあるか？」

⇒心理学教室独自の留学制度はありません。交換留学は大学全体の留学制度を使うことになります。

Ｑ１１「公認心理師と臨床心理士の違いは？」

⇒公認心理師は医師や弁護士同様，国家資格ですが，臨床心理士は日本臨床心理士資格認定協会が認定するものです。

Ｑ１２「臨床心理士と公認心理師は両方とれるか？」

⇒大学院の博士前期課程の話ですが，本学の臨床心理学分野は臨床心理士資格の指定校なので，必要な単位を修めると両方の受験資格が得られます。

Ｑ１３「公務員系の心理職にはどのようなものがあるか？」

⇒国家公務員としては，法務省が管轄する矯正施設の職員や保護観察官として働いたり，家庭裁判所の調査官や警察庁の科学警察研究所で研究を続けるといった道があります。また，地方公務員としては児童相談所や福祉施設の職員として働くといった道があります。

Ｑ１４「卒業生の進路や就職先は？」

⇒人文社会学部案内の p11-p13 に心理学教室の詳しい情報が掲載されていますのでそちらをご覧ください。

https://www.tmu.ac.jp/extra/download.html?d=assets/files/download/guidebook2024/2024jinbun.pdf